

## 長崎大学 東日本大震災寄付金にご協力いただきました皆様へ

このたびは、長崎大学の「東日本大震災」寄付金にご協力いただき、誠に有難うございました。

長崎大学は、地震発生直後から支援のための危機対策本部を設置し、DMAT派遣による緊急の医療支援、被ばく者医療への対応、練習船による救援物資の搬送、現地での医療活動拠点の設置、学生と大学とが一体となった独自の募金活動など、長崎大学の専門性を生かしつつ支援活動を進めて参りました。さらに支援活動を充実させるために、皆様にご寄付をお願いした次第であります。

3月19日から4月28日までの41日間に、学内外から、5月2日現在で、1,653件（団体等を含む）、総額12,739,322円のご寄付が寄せられました。

ご寄付のうち、用途を日本赤十字社を通じての被災者支援と指定された2,373,000円については、日本赤十字社長崎県支部にお届けいたします。残りの10,366,322円につきましては、本学の被災地での医療支援活動のための医薬品、医療資材、その他必要な費用に充当させていただきます。なお、残額が生じた場合には、日本赤十字社を通じての被災者の支援に活用させていただきます。

長崎大学は、今後、地震と津波災害に加えて原発事故という最大の困難を抱えた福島県を中心に、被災者の皆様の支援と、被災地の復興支援に尽力して参る所存ですので、今後ともご理解と、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

平成23年5月9日

国立大学法人長崎大学

学長 片 峰 茂